

10月の果実の見通し

令和3年9月30日現在
山形県東京事務所

品目	区分	主産地	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		販売見通し
			前年実績	前年比見込(%)	5か年平均	前年実績	前年比見込	5か年平均	前年入荷量(t)	前年占有率(%)	
西洋なし類		山形ほか	475	80%	620	399	高い	345	343	72.2	10月上旬より長野産「ラ・フランス」、北海道産「オーロラ」、山形産「メロウリッチ」「コミス梨」が順次販売開始予定。1品種1～2週間の入荷予定。10月末より主要アイテムである山形産「ラ・フランス」の販売が始まる。山形産「ラ・フランス」は凍霜害の影響から前年の7～8割の出荷予定。着果数の少なさから前年に比べ大玉傾向となる。
日本なし類		栃木 茨城 千葉 福島 ほか	2186	85%	3182	473	並み～ 安い	325	7	0.3	開花が昨年より早く、「豊水」「あきづき」などは9月でほぼ終了となり10月の販売は「新高」「にっこり」「南水」の販売となる。産地によっては、開花時期の低温の影響で昨年同様の入荷量は見込めない可能性がある。
ぶどう類		長野 山梨 岡山 ほか	2579	100%	2594	1494	並み～ 安い	1180	180	7.0	山梨産は10月に入りほぼ終了。黒系は岡山産、「シャインマスカット」は長野産が中心となる。天候不順により糖度の上りが鈍く出荷が遅れていたが、口スもあるため10月は前年並みの入荷が見込まれる。9月までは前年と比べ高単価で推移したが、10月の「シャインマスカット」については平年並みに落ち着く見通し。冷蔵貯蔵数量は計画通りであるが、貯蔵出荷開始の下旬から相場上昇見込み。
かき類		和歌山 奈良 福岡 ほか	8710	110%	8781	290	並み～ 安い	257	100	1.1	平年よりも残暑が残らず、柿類にとって着色先行の気候が続いたため、生育は5～7日ほど早い展開になっている。「刀根早生」は上旬にピーク。後続の新潟、山形が霜害のため、出荷数量が見込めず品薄傾向となる見込み。「早秋柿」や「大秋柿」も上旬に始まり、「次郎柿」「早生富有」が中旬よりスタート。柿類全体として前年よりは玉肥大が良いため数量は前年を上回る予定だが、今後の台風や気候次第となる。気温の低下とともに売場も秋果実の売場になっていくため引き合いは強い。

10月の果実の見通し

令和3年9月30日現在
山形県東京事務所

品目	区分 主産地	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		販売見通し
		前年実績	前年比見込(%)	5ヵ年平均	前年実績	前年比見込	5ヵ年平均	前年入荷量(t)	前年占有率(%)	
りんご類	青森 長野 ほか	8629	100%	7824	299	並み～ 安い	297	1176	13.6	10月は中生種が順次始まり、販売アイテムに広がりが出てくる。また、食味も安定してくるため、荷動きの活発化が予想される。早生りんごは相対的に春先の低温・雹害、8月の高温干ばつの影響が見られたが、中生種では出荷数量は順調と推測する。玉流れは36玉>40玉>32玉の見込み。黄色系品種に関しては10月全体は「トキ」中心の出回りとなる。青森産は若干小玉傾向も品質良好。10月半ば以降は「シナノゴールド」も出荷始まり、仕上がりは良好と期待される。りんご類総体の入荷量は平年並み、価格も平年並みの見込み。

引用資料:「東京都中央卸売市場における果実の品目別取扱実績」(青果物情報センター)、果実の入荷・市況見通しについて(東京青果㈱)
 入荷量について:「0」はラウンドして1tに満たない入荷があったもの。「-」は本県のデータがないもの(入荷がないか、又は少なかったためにその他の産地に含まれる)